

# “アクティブ・ラーニング in 青陵”

～5教科指導教諭による公開授業～

日時：10月27日(木) 場所：倉敷青陵高等学校

国語科 指導教諭 三村 美紀



現代を生きる若者が『舞姫』を学ぶ意味は  
どこにあるのか？  
協同的な学びを通して生徒自身が答えを見つけます。

地歴・公民科 指導教諭 難波 俊晴



「地理の言語は地図!？」  
地図を基に、生徒が1時間、頭と体をフル稼働する  
協同型の授業を展開します。

数学科 指導教諭 有馬 博文



「知の集結！問題解決の過程そのものを愉しもう！」  
アクティブ・ラーニングの手法を活用し、個と集団の  
相乗効果の体感・広汎な学びへの礎づくりを目指します。

理科 指導教諭 大橋 武文



「生徒自ら説明することで力をつける。」  
実験操作をiPadで求め、実験で観察される現象を小型  
白板で考察することで、高質な学力養成を目指します。

英語科 指導教諭 中野 修一



“How do students actively express their thoughts  
with the knowledge they've learned?”  
You'll find the answer in Seiryō, Oct.27<sup>th</sup>.

岡山大学教師教育開発センター 高旗 浩志 教授



高等学校の授業で質の高い学力をいかにして養成すればよいでしょうか。学習者の視点に立ち、学習者が主体的に学ぶため「学習する主体」をいかに育てていくかという視点で一緒に考えていきましょう。